

日本劇作家協会 2020年度(令和2年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー
 - ①第26回劇作家協会新人戯曲賞
6月1日～7月1日 作品公募
7月～9月 一次審査、二次審査
12月上旬 最終候補作掲載の「優秀新人戯曲集2021」刊行
12月13日 最終選考会(公開)、受賞作発表、授賞式(於 座・高円寺)
 - ②戯曲セミナー:通年講座(於 座・高円寺稽古場)
→当面、延期する
 - ③戯曲セミナー:研修課(文化庁委託事業)
6月上旬～7月 新規研修生公募、選考
～3月 担当講師の個別指導による研修実施(継続研修生は5月から)
 - ④公開講座(文化庁委託事業)
8月8日 座・高円寺2で開催予定
 2. 普及、ワークショップ、シンポジウム
 - ①ドラマリーディングのワークショップと発表会(文化庁委託事業)
 - ◎東京
1)月いちリーディング:6月～2月に計6回、リーディングのワークショップを開催(於 座・高円寺稽古場)
→6月と7月の回はオンラインでの開催を予定
 - 2)ドラマリーディング発表会(リーディングフェスタ):12月12日と13日(於 座・高円寺)
 - ◎大阪
1)月いちリーディング:リーディングのワークショップを開催(9月、1月、日程未定の計3回を予定、於 common café)
2)ドラマリーディング発表会(関西スペシャル):11月21日にドラマリーディング発表会を開催(於 ドーンセンター)
 - ◎神奈川
1)月いちリーディング:1月にリーディングのワークショップを開催(於 横浜市)
 - ◎九州
1)月いちリーディング:9月と2月にリーディングのワークショップを開催(於 熊本市、北九州市)
 - ◎東北
1)月いちリーディング:12月にリーディングのワークショップを開催(於 盛岡劇場・河南公民館)
 - ②「劇作家と俳優のためのせりふの読み方」ワークショップ(文化庁委託事業)
→1回4日間で計2回、都内や近隣の稽古場などで開催予定(日程未定)
3. 出版
 - ①戯曲英訳出版(文化庁委託事業)
現代日本戯曲を英訳出版して海外に紹介する(戯曲集の第6巻を3月に刊行)
 - ②戯曲オンデマンド出版と戯曲デジタルアーカイブについての調査、検討を継続して行う
 - ③会報の発行:従来型の会報『ト書き』を発行する(年2回)
4. 震災支援
 - ①「SHINSAI: Theaters for Japan」などで寄せられた義援金による基金を元に震災支援事業を行う
5. 調査、資料収集
 - ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続
6. 協力、パートナーシップ
 - ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続(12月に一次審査、1月に最終選考、3月に贈呈式)
 - ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
 - ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)に協力する
7. 国際交流
 - ①各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
 - ②各国(フランス、アメリカ、イギリス、中国、韓国など)と日本の相互による戯曲リーディング実施のための調査、検討を行う
 - ③2015年度から開始した「海外演劇紹介プログラム」を継続する
8. 著作権
 - ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
 - ②「最低上演料決議」2012年度新規規定の公表と普及につとめる
9. セクシャル・ハラスメント
 - ①「セクシャル・ハラスメント事案への対応に関する基本要綱」に基づき対応する
10. 公益法人化
 - ①公益社団法人認定のための調査・検討を進める
11. 支部
 - ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施
12. その他
 - ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続
 - ②「別役実氏をしのぶ会」(仮称)を実施する